

## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 松本 昭彦
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	安心で快適な暮らしを支える重要な生活基盤である道路について、将来の少子高齢化や施設の老朽化による補修・更新需要の増加を見据えて、安全で快適に利用できる道路網の整備と老朽施設の補修・更新を含めた維持管理を計画的に実施し、より安全で安心な道路環境の整備を目指します。							
--	---	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6
2	幸福 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	50	A
			49.3	53.9	65.8	64.1	64.1	481.1
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 04020100 より安全で安心な道路環境の整備 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6
2	幸福 04020100 より安全で安心な道路環境の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	50	A
			49.3	53.9	65.8	64.1	64.1	481.1
3	暮らし 04020200 安全・快適な幹線道路網の整備 交通事故発生件数 単位	108	107	106	105	104	104	A
			110	71	69	60	60	1,200.0
4	幸福 04020200 安全・快適な幹線道路網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	50	A
			49.3	53.9	65.8	64.1	64.1	481.1
	単位							

## 前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 02 計画的な道路整備と維持管理

主管課長職・氏名	道路課長 松本 昭彦
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道路整備計画」、「道路維持管理計画」の変更、策定はできませんでしたが、市の「公共施設総合管理計画」の中で取り組みを推進しました。</li> <li>市道除排雪事業において、例年と比べると降雪が少なかったため、経費が抑えられました。</li> </ul>

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重要課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路事業の財源確保による事業推進</li> <li>地域協働による市道の除排雪体制の整備</li> </ul> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要財源の社会資本整備総合交付金で事業促進が図られました。</li> <li>協働除雪体制が図られ、降雪量が少なかったこともあり、苦情件数も減少しました。</li> </ul>

## 3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
	当基本施策に影響する社会環境変化はありません。

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
	政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須です。

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き安全で快適な道路網の整備と施設の老朽化対策を含めた維持管理を計画的に進めます。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定財源の安定的確保</li> <li>道路事業の計画的実施のための「道路整備計画」、「道路維持管理計画」の適切な見直し</li> </ul>

